

株主のみなさまへ

第191期 中間報告書

(2016年4月1日～2016年9月30日)



メキシコで一番美しい町といわれるグアナフアトのバシリカ教会



ワツタの新色に、 当社グループの塗色が採用

2016年7月に発売された新型アテンザを皮切りに、アテンザなどに当社グループの塗色“マシニングレー”が採用されています。

ワツタ独自の塗装技術「匠塗 TAKUMINURI」によってリアルな金属感が表現されたこの色の誕生には、当社グループの技術も貢献しています。

時間帯や場所などの光の強弱によって豊かに表情を変えるマシニングレーは、“ソカルレップ”と並ぶ大人気の色です。

<http://www.nipponpaint-holdings.com/>



Basic & New

豊かな心で 未来をひらく
日本ペイントホールディングス株式会社

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申しあげます。ここに当社グループの第191期第2四半期連結累計期間（2016年4月1日から2016年9月30日まで）の業績についてご報告申しあげます。

連結売上高は、中国ならびに米州の業績が好調に推移するなか、為替水準の変動影響を受け2,544億円（前年同期比3.4%減）となりましたが、各地域で徹底したコスト管理や原価低減活動などを進めてまいりました。この結果、円高の影響を吸収し、連結営業利益は379億円（前年同期比18.4%増）となり、営業利益率は過去最高の14.9%を記録いたしました。

また連結経常利益は、円高による外貨建て資産の為替差損を計上したものの356億円（前年同期比5.7%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、166億円（前年同期比25.1%増）となりました。

配当につきましては、当社はIFRS（国際財務報告基準）ベースで株主のみなさまへの配当金額を算出しています。当期の中間配当は5月12日の公表どおり1株あたり20円とし、期末配当は20円を予定しております。通期では1株あたり40円となる見込みです（前年度35円）。

2014年12月にアジアの合併会社を連結化して2年が経ちました。連結を契機に、これまで以上にアジア各国の事業に関与し連携を深めるなかで、拡大成長を続けております。

例えば自動車用塗料事業においては、日本から技術者を派遣し、現地顧客のニーズについて直接理解した上で、競争力のある新製品の開発を進めております。その他の事業分野においても技術開発・原材料調達・マーケティングなど様々な形で連携を深め、相乗効果が出てきております。

連携を深める過程では、言葉や文化、宗教、仕事の進め方など様々な「違い」を背景とした課題や問題が出てくることは避けられませんが、今後のグローバルでのさらなる事業

拡大に向け、「多様性」を乗り越え、強みとする企業文化の醸成をめざしてまいります。

またアジア以外の地域でも積極的に事業を展開しております。この度、中南米での事業拡大を企図し、メキシコにおいて自動車用塗料の第2工場を竣工いたしました。今後のさらなる成長にご期待ください。

通期業績予想	通期予想				(億円)
	修正	期初	増減額	増減率	
につきましては、期初に発表した数値を修正いたします。為替水準の変動影響を受けたことなどによるものです。					
売上高	4,670	5,000	▲330	▲6.6%	
営業利益	700	710	▲10	▲1.4%	
経常利益	690	740	▲50	▲6.8%	
当期純利益 [※]	300	340	▲40	▲11.8%	

※親会社株主に帰属する当期純利益

当社グループを取り巻く環境は不透明な状況が続きますが、グローバルで成長を続ける塗料市場において、さらなる事業拡大と継続的な原価低減活動による収益改善を続けて参ります。今後もより一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長

田堂哲志



四天王寺の塗り替えに当社塗料が採用

6世紀末に聖徳太子によって建立された日本最古ともいわれる仏教寺院である四天王寺。その中心伽藍の外壁の塗り替え工事に、当社製品の「アプラウドシェラスターNEO」が採用されました。

四天王寺の現在の建物は1957年～1959年にかけてコンクリート造で再建されたもので、聖徳太子の千四百年御聖忌に合わせて、半世紀ぶりの大規模な改修工事が行われています。再建当時と同じような仕上げにすべくフルリニューアルが進められており、当社製品が、四天王寺の美観をあとの世代に受け継いでいくお手伝いをしています。

「アプラウドシェラスターNEO」は耐久性に非常に優れており、塗料特有の有機溶剤の臭いがないタイプで、参拝される方々にも安心して頂ける塗料で塗り替えられています。

2018年3月にすべての改修工事が終了する予定ですが、今年7月には五重塔の改修工事が終了し、一般拝観が再開されました。半世紀前の塗装と塗りたての塗装が一度に見られる貴重な機会ですので、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



重要科学技術史資料に「ペイント製造用手廻しロールミル」が登録

当社が歴史館にて保有する「ペイント製造用手廻しロールミル」が2016年度 国立科学博物館の重要科学技術史資料(未来技術遺産)に登録されました。

日本の近代塗料工業は、当社の前身である光明社(1881年設立)による洋式塗料の国産化で幕を開けました。国産塗料の開発・製造の草創期に使用されたものとして貴重であることが登録の理由です。当社が保有する資料で3件目の登録になります。

当社の歴史館では同遺産に登録されている、創業当時の国産塗料を塗装した「塗り板見本衝立」、「電着塗装国産第1号車と共に塗装されたカーモデル」も合わせて一般公開しています。



本社敷地内に技術研究棟を建設中

現在、当社グループは本社敷地内に新しい技術研究棟を建設しています。

この技術研究棟は床面積約5,300m²、高さ約23mの5階建てで、屋上には新製品の性能を試験するための屋外暴露場を設置します。日本ペイントグループの各事業会社の研究開発部署が入居するこの施設は、様々な新製品を世の中に送り出すための重要な拠点となります。

新たな技術研究棟とともにさらなる飛躍をし、成長していく当社グループにより一層ご期待ください。





(単位：億円 億円未満の端数は切り捨てております。)

■ 連結損益計算書

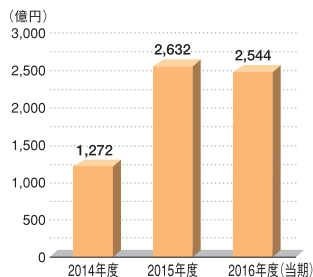
前期は、2015年4月1日～2015年9月30日、
当期は、2016年4月1日～2016年9月30日を示します。

売上高

前期 2,632

当期 2,544

為替水準の変動影響を受け、前年同期比3.4%減となりました。

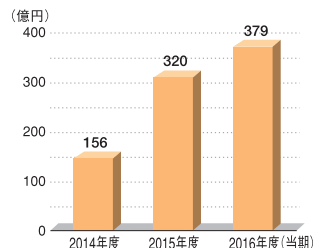


営業利益

前期 320

当期 379

継続した原価低減活動の成果等により円高影響を吸収し、前年同期比18.4%増となりました。

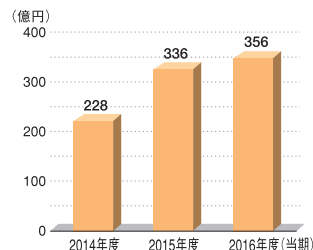


経常利益

前期 336

当期 356

外貨建て資産について円高による為替差損を計上したものの、前年同期比5.7%増となりました。



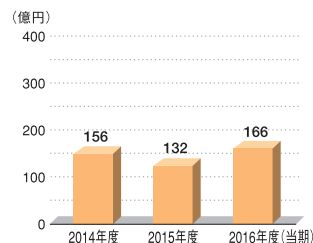
純利益※

前期 132

当期 166

前年同期比25.1%増となりました。

※親会社株主に帰属する当期純利益



■ 連結貸借対照表

(億円)

科目	2016年3月31日現在	2016年9月30日現在
流動資産	3,596	3,529
固定資産	4,318	3,827
資産合計	7,914	7,357
流動負債	1,735	1,629
固定負債	501	472
負債合計	2,237	2,101
株主資本	4,749	4,851
その他の包括利益累計額	△54	△529
非支配株主持分	981	932
純資産	5,677	5,255
負債・純資産合計	7,914	7,357

・総資産は前連結会計年度末と比較して557億円減少し、7,357億円となりました。

・流動資産については、前連結会計年度末と比較して66億円減少していますが、主な要因は、現金及び預金、売上債権が増加した一方で、たな卸資産や有価証券が減少したことなどによるものです。

・固定資産については、前連結会計年度末と比較して490億円減少していますが、主な要因は、償却に伴うのれんの減少などによるものです。

・負債については、前連結会計年度末と比較して135億円減少し、2,101億円となりましたが、主な要因は、仕入債務や有利子負債、繰延税金負債が減少したことなどによるものです。

・純資産については、前連結会計年度末と比較して421億円減少し、5,255億円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方で、為替換算調整勘定が円高の影響により減少したことなどによるものです。

(単位：億円 億円未満の端数は切り捨てております。)

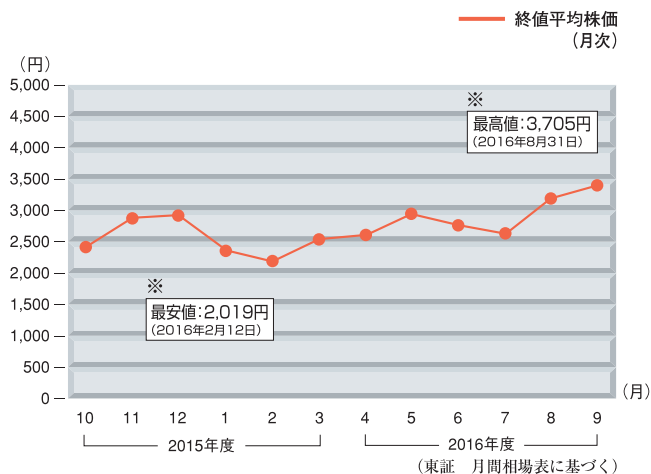
■ 連結キャッシュ・フロー計算書

前期は、2015年4月1日～2015年9月30日、
当期は、2016年4月1日～2016年9月30日を示します。

(億円)

科目	前期	当期
営業活動による キャッシュ・フロー	137	351
投資活動による キャッシュ・フロー	△72	△36
財務活動による キャッシュ・フロー	△43	△65
現金及び現金同等物 の期首残高	787	1,082
現金及び現金同等物 の期末残高	809	1,225

■ 株価推移 (2015年10月～2016年9月)



※2015年10月から2016年9月までの期間の最高値・最低値

■ ホームページのご案内

投資家情報ページのご案内

詳細な財務情報や企業情報に関しては、
投資家情報ページをご参照ください。

4月1日より

個人投資家様向けサイトがオープン!!

click!!

TOPページ

click!!

投資家情報ページ

<http://www.nipponpaint-holdings.com/>

日本ペイントホールディングス 検索



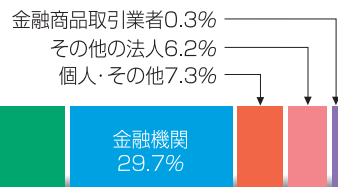
(2016年9月30日現在)

社 会 〒531-8511 大阪市北区大淀北 2-1-2
 TEL 06-6458-1111
 創 業 明治14年(1881年)3月14日
 資 本 金 788億6千2百万円
 主要な事業内容 グループ戦略立案ならびに各事業会社の運営

■ 株式状況

発行可能株式総数 1,000,000,000株
 発行済株式の総数 325,402,443株
 株 主 数 9,724名

所有者別分布状況
 (株式数比率)



※自己保有株式4,697,534株は「個人・その他」に含めています。

■ 大株主^{※1}

株 主 名	持株数	持株比率 ^{※2}
	(千株)	(%)
^{※3} NIPSEA INTERNATIONAL LIMITED	126,906	39.57
N A T I X I S	12,357	3.85
日本生命保険相互会社	10,817	3.37
住友生命保険相互会社	10,750	3.35
株式会社三井住友銀行	9,999	3.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,178	2.23
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,133	2.22
三井住友信託銀行株式会社	7,053	2.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社トヨタ自動車口	5,109	1.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,975	1.55

※1 当社は、自己株式4,697,534株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控いて算出してあります。

※2 持株数は千株未満、持株比率は小数点第2位未満を切り捨ててあります。

※3 NIPSEA INTERNATIONAL LIMITEDは、ゴー・ハップジン氏が代表を務めるWUTHELAM HOLDINGS LTD.の100%子会社です。

■ 役員

取締役会長	酒井 健二
代表取締役社長	田 堂 哲志
代表取締役専務執行役員	西 島 寛 治
取締役上席執行役員	南 学
取締役	ゴー・ハップジン
社外取締役	松 本 岳
社外取締役	三 品 和 広
常勤監査役	金 倉 頭 博
常勤監査役	川 邊 統 也
社外監査役	清 水 正 裕
社外監査役	高 橋 司
社外監査役	生 沼 寿 彦

■ 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日 (2016年度は4月1日から12月31日まで)
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日(2016年度は9月30日)
定時株主総会	3月中
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区 伏見町三丁目6番3号 フリーダイヤル 0120-094-777
公告方法	電子公告により行う。 http://www.nipponpaint-holdings.com/koukoku/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。